

投資信託説明書
(交付目論見書)使用開始日
2023年11月17日野村DC運用戦略ファンド
愛称：ネクスト10

追加型投信／内外／資産複合

ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。

本書は、金融商品取引法（昭和23年法律第25号）第13条の規定に基づく目論見書です。

- **ファンドに関する金融商品取引法第15条第3項に規定する目論見書（以下「請求目論見書」といいます。）は野村アセットマネジメント株式会社のホームページに掲載しています。**なお、ファンドの投資信託約款の全文は請求目論見書に記載しています。
- ファンドの販売会社、ファンドの基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

委託会社 ファンドの運用の指図を行なう者

野村アセットマネジメント株式会社

■金融商品取引業者登録番号：関東財務局長（金商）第373号

<照会先> 野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル

0120-753104（受付時間）営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>

受託会社 ファンドの財産の保管および管理を行なう者

野村信託銀行株式会社

| 商品分類 | | | 属性区分 | | | | |
|---------|--------|-------------------|----------------------|------|------------------|---------------|---------------|
| 単位型・追加型 | 投資対象地域 | 投資対象資産 (収益の源泉) | 投資対象資産 | 決算頻度 | 投資対象地域 | 投資形態 | 為替ヘッジ |
| 追加型 | 内外 | 資産複合 | その他資産 ^(注) | 年1回 | グローバル (日本を含む) | ファミリー ファンド | あり (適時ヘッジ) |

(注) (投資信託証券(資産複合(株式、債券、不動産投信)資産配分変更型))

*属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

上記、商品分類および属性区分の定義については、一般社団法人投資信託協会のホームページ (<http://www.toushin.or.jp/>) でご覧頂けます。

<委託会社の情報>

- 設立年月日：1959年12月1日
- 資本金：171億円（2023年9月末現在）
- 運用する投資信託財産の合計純資産総額：53兆8399億円（2023年8月31日現在）

この目論見書により行なう野村DC運用戦略ファンドの募集については、発行者である野村アセットマネジメント株式会社（委託会社）は、金融商品取引法第5条の規定により有価証券届出書を2023年5月16日に関東財務局長に提出しており、2023年5月17日にその効力が生じております。

- ファンドの内容に関して重大な変更を行なう場合には、投資信託及び投資法人に関する法律（昭和26年法律第198号）に基づき事前に受益者の意向を確認いたします。
- 投資信託の財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されています。
- 請求目論見書については販売会社にご請求いただければ当該販売会社を通じて交付いたします。なお、販売会社に請求目論見書をご請求された場合は、その旨をご自身で記録しておくようにしてください。



ファンドの目的・特色

■ ファンドの目的

信託財産の成長を目標に運用を行なうことを基本とします。

■ ファンドの特色

主要投資対象

国内および外国（新興国を含む）の株式、国内および外国（新興国を含む）の公社債、国内および外国の不動産投資信託証券（REIT）を実質的な主要投資対象[※]とし、為替予約取引等を主要取引対象とします。

※「実質的な主要投資対象」とは、「国内株式マザーファンド」、「国内債券マザーファンド」、「外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド」、「外国債券マザーファンド」、「新興国株式マザーファンド」、「新興国債券マザーファンド」、「新興国債券（現地通貨建て）マザーファンド」、「J-REITインデックス マザーファンド」、「海外REITインデックス マザーファンド」、「野村マネーマザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

投資方針

●運用にあたっては、世界の様々な指標の動きを計量的なアプローチを用いて分析し、リスク水準^{※1}を一定範囲内程度に抑えつつ効率的に収益を獲得することを目指して、各マザーファンドへの投資比率および為替予約取引等のポジション^{※2}を決定します。

※1 リスク水準とは、推定されるポートフォリオの価格の変動の大きさのことです。ファンドでは、推定される基準価額の「振れ幅」（上下変動の程度）を表しています。リスク水準の調整にあたっては、基準価額の目標変動リスク値を、当年率5%程度以下となることを目指して、リスク水準の異なる資産の配分比率や実質的な外貨のエクスポージャーを変更します。

基準価額の変動の方向は、上昇することも下落することもあり得ます。変動リスクの大きさは、必ずしもファンドの運用成績の良さを意味するものではありません。**実際の運用成績は、マイナスとなる可能性があります。**

ファンドで組入れる各資産と為替の過去の価格の変動リスク等の統計値から、それらを組み合わせた将来の価格の変動リスク値を推定し、資産配分と通貨配分により目標変動リスク値を調整します。ただし、目標変動リスク値はあくまでも推定に基づく統計的な目安ですので、実際の基準価額の変動リスクは、推定値からはずれる場合があります。したがって、基準価額が目標変動リスク値で示される範囲より小さくしか値動きをしない場合もあれば、**目標変動リスク値で示される範囲を超えて大きく値下がりする場合があります。**

変動リスク値は、「ボラティリティ」や「標準偏差」と呼ばれることもあります。

※2 マザーファンドを通じて実質的に投資を行なう内外の株式およびREITへの投資比率、ファンドが投資する外貨建資産と為替予約取引等を加味した実質的な外貨のエクスポージャーは、原則として、以下の範囲内となります。

| 実質的な内外の株式 およびREITへの投資比率 | 実質的な外貨の エクスポージャー |
|----------------------------|---------------------|
| 純資産総額の50%以内 | 純資産総額の50%以内 |

◆各マザーファンドへの投資比率および為替予約取引等のポジションは適宜見直しを行ないます。

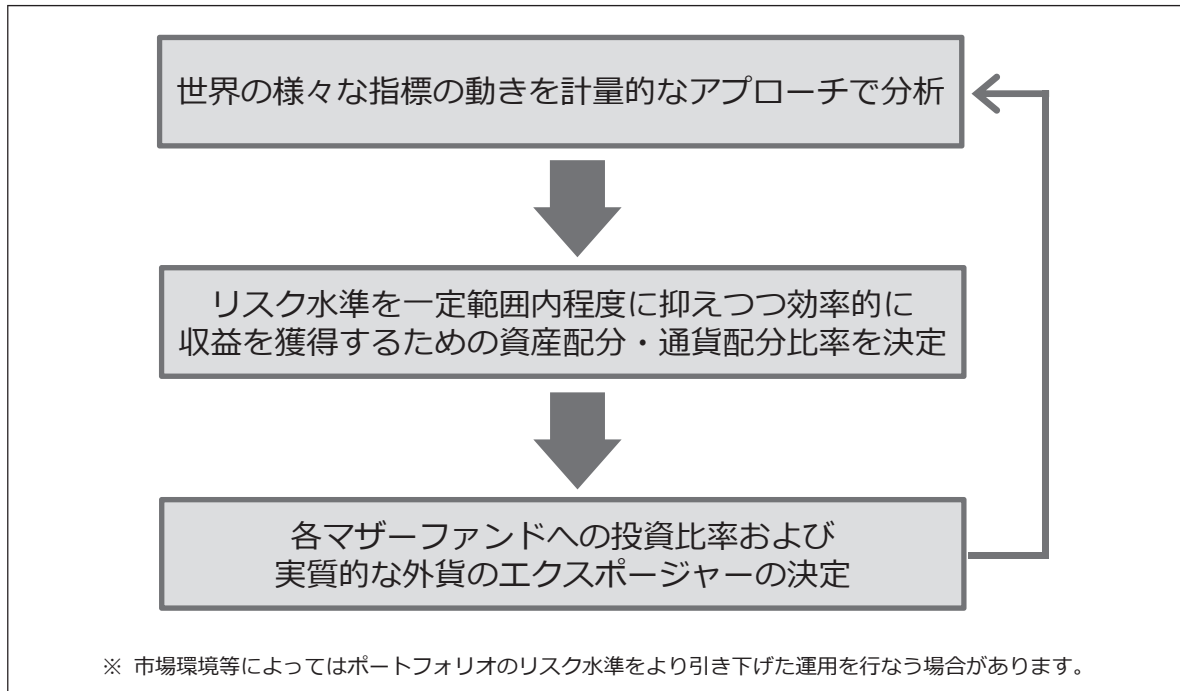
◆一部のマザーファンドへの投資比率がゼロとなる場合があります。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。



ファンドの目的・特色

■運用プロセスについて■





ファンドの目的・特色

◆各マザーファンド（「野村マネー マザーファンド」を除く）は、各々以下の指数の動きに連動する投資成果を目指して運用を行ないます。

「野村マネー マザーファンド」は、円建ての短期有価証券等に投資を行ない、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行ないます。

| マザーファンド名 | 主要投資対象 | 対象指数 |
|-------------------------|--------------------------|---|
| 国内株式マザーファンド | わが国の株式 | 東証株価指数（TOPIX） |
| 国内債券マザーファンド | わが国の公社債 | NOMURA-BPI国債指数 |
| 外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド | 外国の株式 | MSCI-KOKUSAI指数（円ベース・為替ヘッジなし）*1 |
| 外国債券マザーファンド | 外国の公社債 | FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース） |
| 新興国株式マザーファンド | 新興国の株式（DR（預託証券）*1を含みます。） | MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円換算ベース）*2 |
| 新興国債券マザーファンド | 新興国の公社債 | JP モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円換算ベース）*3 |
| 新興国債券（現地通貨建て）マザーファンド | 現地通貨建ての新興国の公社債 | JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円換算ベース）*4 |
| J-REITインデックスマザーファンド | J-REIT*2 | 東証REIT指数（配当込み） |
| 海外REITインデックスマザーファンド | 日本を除く世界各国のREIT*3 | S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円換算ベース）*5 |

※1 Depository Receipt（預託証券）の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。

※2 わが国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券（一般社団法人投資信託協会規則に定める不動産投資信託証券をいいます。）とします。

※3 世界の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券（一般社団法人投資信託協会規則に定める不動産投資信託証券をいいます。）とします。なお、国によっては、「不動産投資信託証券」について、「REIT」という表記を用いていない場合もありますが、当ファンドにおいては、こうした場合も含め、全て「REIT」といいます。

*1 MSCI-KOKUSAI 指数をもとに、委託会社が円換算したものです。

*2 MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み・ドルベース）をもとに、委託会社が円換算したものです。

*3 JP Morgan Emerging Market Bond Index (EMBI) Plus (USドルベース) をもとに、委託会社が円換算したものです。

*4 JP Morgan Government Bond Index-Emerging Markets (GBI-EM) Global Diversified (USドルベース) をもとに、委託会社が円換算したものです。

*5 S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、ドルベース）をもとに、委託会社が円換算したものです。

・各マザーファンド（「野村マネー マザーファンド」を除く）が対象とするインデックスの著作権等については、追加的記載事項をご覧ください。

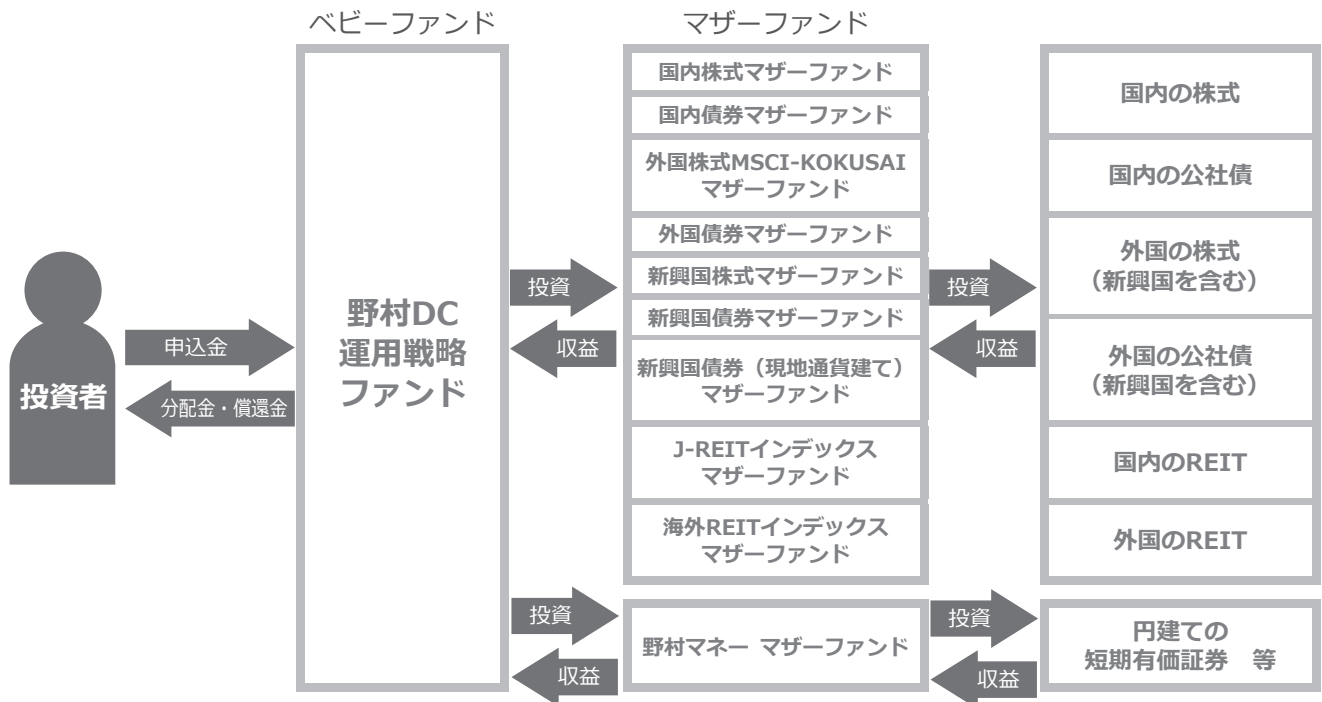
◆内外の株式およびREITをそれぞれ主な投資対象とする「国内株式マザーファンド」、「外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド」、「新興国株式マザーファンド」、「J-REITインデックス マザーファンド」、「海外REITインデックス マザーファンド」への投資比率の合計は、原則として、信託財産の純資産総額の50%以内とします。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。



ファンドの目的・特色

- 為替予約取引等の利用については、外貨建資産の為替変動リスクを回避する目的（ヘッジ目的。代替ヘッジを含みます。）のほか、効率的に収益を獲得する目的（ヘッジ目的外）で活用します。
- ◆為替の買予約の合計額と売予約の合計額との差額につき円換算した額は信託財産の純資産総額の100%以内とします。
- ◆実質的な外貨のエクスポージャーは、原則として、信託財産の純資産総額の50%以内となるように調整を行いません。
- ファンドはマザーファンドを通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。



※ファンドは、各マザーファンドへの投資を行なうと共に、為替予約取引等を活用します。



ファンドの目的・特色

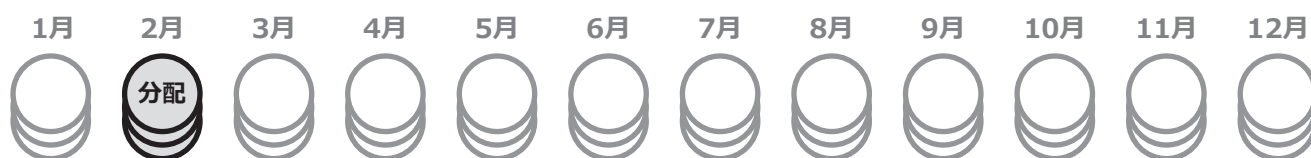
主な投資制限

| | |
|-------------|--------------------------|
| 株式への投資割合 | 株式への実質投資割合には制限を設けません。 |
| 外貨建資産への投資割合 | 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 |
| デリバティブの利用 | デリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。 |

分配の方針

原則、毎年2月17日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。



* 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。



投資リスク

■ 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、投資を行なっている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。したがって、ファンドにおいて、**投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。**なお、投資信託は預貯金と異なります。

| | |
|------------------|---|
| 株価変動リスク | ファンドは実質的に株式に投資を行ないますので、株価変動の影響を受けます。特にファンドの実質的な投資対象に含まれる新興国の株価変動は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。 |
| REITの 価格変動リスク | REITは、保有不動産の状況、市場金利の変動、不動産市況や株式市場の動向等により、価格が変動します。ファンドは実質的にREITに投資を行ないますので、これらの影響を受けます。 |
| 債券価格変動リスク | 債券（公社債等）は、市場金利や信用度の変動により価格が変動します。ファンドは実質的に債券に投資を行ないますので、これらの影響を受けます。特にファンドの実質的な投資対象に含まれる新興国の債券価格の変動は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。 |
| 為替変動リスク | ファンドは、為替変動リスクの低減を図る目的（ヘッジ目的）のほか、効率的に収益を追求する目的（ヘッジ目的外）で為替予約取引等を活用しますので、為替変動の影響を受けます。特にファンドの実質的な投資対象に含まれる新興国の通貨については、先進国の通貨に比べ流動性が低い状況となる可能性が高いこと等から、当該通貨の為替変動は先進国以上に大きいものになることも想定されます。 |

* 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意点

◆ **ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。**

- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止等となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性等があります。
- 資金動向、市況動向等によっては、また、不慮の出来事等が起きた場合には、投資方針に沿った運用ができない場合があります。
- ファンドが実質的に組み入れる有価証券の発行体において、利払いや償還金の支払いが遅延する可能性があります。
- 有価証券への投資等ファンドにかかる取引にあたっては、取引の相手方の倒産等により契約が不履行になる可能性があります。
- 投資対象とするマザーファンドにおいて、他のベビーファンドの資金変動等に伴う売買等が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。



投資リスク

- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。

分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

■ リスクの管理体制

委託会社では、ファンドのパフォーマンスの考査および運用リスクの管理をリスク管理関連の委員会を設けて行なっております。

- パフォーマンスの考査

投資信託の信託財産についてパフォーマンスに基づいた定期的な考査（分析、評価）の結果の報告、審議を行ないます。

- 運用リスクの管理

投資信託の信託財産の運用リスクを把握、管理し、その結果に基づき運用部門その他関連部署への是正勧告を行なうことにより、適切な管理を行ないます。

※流動性リスク管理について

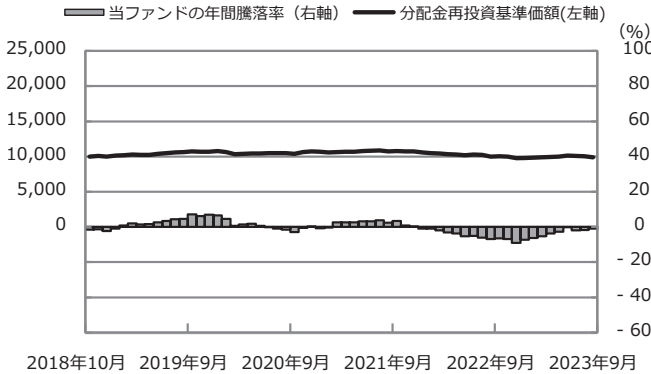
流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行ないます。リスク管理関連の委員会が、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について監督します。



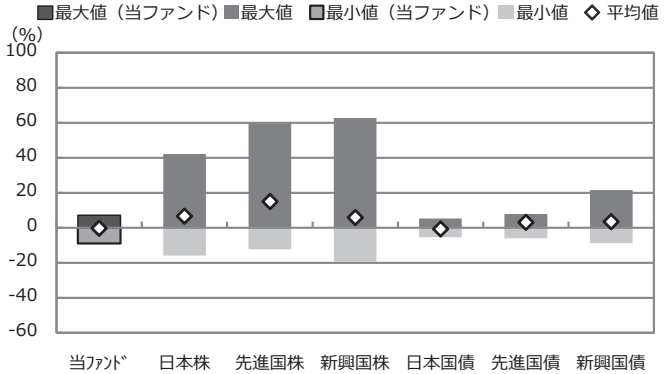
投資リスク

■ リスクの定量的比較 (2018年10月末～2023年9月末：月次)

ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|---------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|
| 最大値 (%) | 7.2 | 42.1 | 59.8 | 62.7 | 5.4 | 7.9 | 21.5 |
| 最小値 (%) | △ 9.0 | △ 16.0 | △ 12.4 | △ 19.4 | △ 5.5 | △ 6.1 | △ 8.8 |
| 平均値 (%) | △ 0.3 | 6.8 | 15.0 | 5.9 | △ 0.6 | 3.0 | 3.5 |

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2018年10月末を10,000として指数化しております。
 * 年間騰落率は、2018年10月から2023年9月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

* 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
 * 2018年10月から2023年9月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
 * 決算日に対応した数値とは異なります。
 * 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。

<代表的な資産クラスの指数>

- 日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
- 先進国株：MSCI-KOKUSAI指数 (配当込み、円ベース)
- 新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)
- 日本国債：NOMURA-BPI国債
- 先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
- 新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

■ 代表的な資産クラスの指数の著作権等について ■

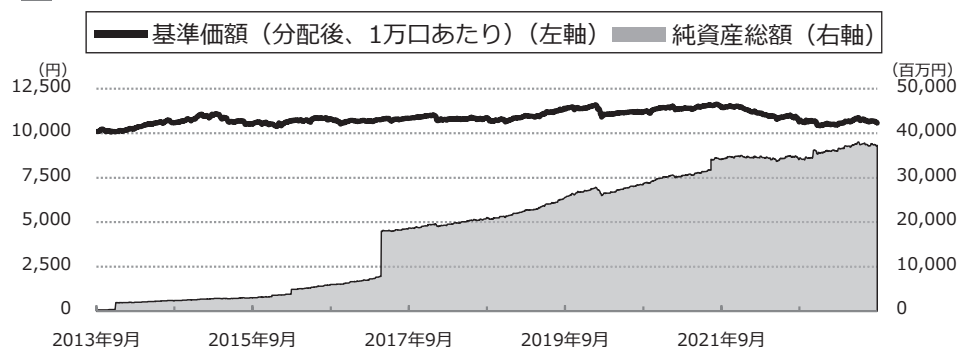
- 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)・・・配当込みTOPIX (「東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)」といいます。)の指数値及び東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)に係る商標又は商標は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社 (以下「J P X」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) に係る商標又は商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P X により提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対しても J P X は責任を負いません。
 - MSCI-KOKUSAI指数 (配当込み、円ベース)、MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)・・・MSCI-KOKUSAI指数 (配当込み、円ベース)、MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 - NOMURA-BPI国債・・・NOMURA-BPI国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI国債を用いて行われる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。
 - FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)・・・FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
 - JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)・・・「JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)」(ここでは「指数」とよびます) についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価値や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスは法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社 (以下、JPM) がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPMやその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持っており、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受人、プレースメント・エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。
- 米国のJ.P. Morgan Securities LLC (ここでは「JPMSLLC」と呼びます) (「指数スポンサー」) は、指数に関する証券、金融商品または取引 (ここでは「プロダクト」と呼びます) についての援助、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると思われる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。
- JPMSLLCはNASD, NYSE, SIPCの会員です。JPMorganはJP Morgan Chase Bank, NA, JP SI, J.P. Morgan Securities PLC.、またはその関係会社が投資銀行業務を行う際に使用する名称です。

(出所：株式会社野村総合研究所、FTSE Fixed Income LLC 他)



運用実績 (2023年9月29日現在)

■ 基準価額・純資産の推移 (日次)



■ 分配の推移

(1万口あたり、課税前)

| | |
|---------|------|
| 2023年2月 | 5 円 |
| 2022年2月 | 5 円 |
| 2021年2月 | 5 円 |
| 2020年2月 | 5 円 |
| 2019年2月 | 5 円 |
| 設定来累計 | 55 円 |

■ 主要な資産の状況

各マザーファンドへの投資比率

| 銘柄 | 投資比率(%) |
|-------------------------|---------|
| 国内株式マザーファンド | 3.6 |
| 国内債券マザーファンド | 20.4 |
| 外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド | 4.6 |
| 外国債券マザーファンド | 19.0 |
| 新興国株式マザーファンド | 1.9 |
| 新興国債券マザーファンド | 2.1 |
| 新興国債券(現地通貨建て)マザーファンド | 2.2 |
| J-REITインデックスマザーファンド | 3.9 |
| 海外REITインデックスマザーファンド | 1.9 |
| 野村マネーマザーファンド | 0.2 |

実質的な銘柄別投資比率(上位)

・「国内株式マザーファンド」を通じての投資銘柄

| 順位 | 銘柄 | 業種 | 投資比率(%) |
|----|-------------------|--------|---------|
| 1 | トヨタ自動車 | 輸送用機器 | 0.2 |
| 2 | ソニーグループ | 電気機器 | 0.1 |
| 3 | 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 銀行業 | 0.1 |
| 4 | 日本電信電話 | 情報・通信業 | 0.1 |
| 5 | キーエンス | 電気機器 | 0.1 |

・「国内債券マザーファンド」を通じての投資銘柄

| 順位 | 銘柄 | 種類 | 投資比率(%) |
|----|-------------------|------|---------|
| 1 | 国庫債券 利付(2年)第447回 | 国債証券 | 0.6 |
| 2 | 国庫債券 利付(2年)第452回 | 国債証券 | 0.3 |
| 3 | 国庫債券 利付(10年)第350回 | 国債証券 | 0.3 |
| 4 | 国庫債券 利付(5年)第145回 | 国債証券 | 0.3 |
| 5 | 国庫債券 利付(10年)第340回 | 国債証券 | 0.3 |



運用実績 (2023年9月29日現在)

・「外国株式MSCI – KOKUSA I マザーファンド」を通じての投資銘柄

| 順位 | 銘柄 | 業種 | 投資比率 (%) |
|----|-------------------|----------------------|----------|
| 1 | APPLE INC | コンピュータ・周辺機器 | 0.2 |
| 2 | MICROSOFT CORP | ソフトウェア | 0.2 |
| 3 | AMAZON.COM INC | 大規模小売り | 0.1 |
| 4 | NVIDIA CORP | 半導体・半導体製造装置 | 0.1 |
| 5 | ALPHABET INC-CL A | インタラクティブ・メディアおよびサービス | 0.1 |

・「外国債券マザーファンド」を通じての投資銘柄

| 順位 | 銘柄 | 種類 | 投資比率 (%) |
|----|------------------|------|----------|
| 1 | US TREASURY N/B | 国債証券 | 0.3 |
| 2 | US TREASURY N/B | 国債証券 | 0.3 |
| 3 | US TREASURY BOND | 国債証券 | 0.3 |
| 4 | US TREASURY N/B | 国債証券 | 0.3 |
| 5 | US TREASURY BOND | 国債証券 | 0.3 |

・「新興国株式マザーファンド」を通じての投資銘柄

| 順位 | 銘柄 | 業種 | 投資比率 (%) |
|----|--------------------------------|----------------------|----------|
| 1 | TAIWAN SEMICONDUCTOR | 半導体・半導体製造装置 | 0.1 |
| 2 | ISHARES MSCI CHINA A UCITS ETF | — | 0.1 |
| 3 | TENCENT HOLDINGS LTD | インタラクティブ・メディアおよびサービス | 0.1 |
| 4 | SAMSUNG ELECTRONICS | コンピュータ・周辺機器 | 0.1 |
| 5 | ALIBABA GROUP HOLDING LIMITED | 大規模小売り | 0.0 |

・「新興国債券マザーファンド」を通じての投資銘柄

| 順位 | 銘柄 | 種類 | 投資比率 (%) |
|----|--------------------------|------|----------|
| 1 | STATE OF QATAR | 国債証券 | 0.0 |
| 2 | SAUDI INTERNATIONAL BOND | 国債証券 | 0.0 |
| 3 | OMAN GOV INTERNTL BOND | 国債証券 | 0.0 |
| 4 | STATE OF QATAR | 国債証券 | 0.0 |
| 5 | REPUBLIC OF TURKEY | 国債証券 | 0.0 |

・「新興国債券（現地通貨建て）マザーファンド」を通じての投資銘柄

| 順位 | 銘柄 | 種類 | 投資比率 (%) |
|----|------------------------|------|----------|
| 1 | CHINA GOVERNMENT BOND | 国債証券 | 0.0 |
| 2 | CHINA GOVERNMENT BOND | 国債証券 | 0.0 |
| 3 | LETRA TESOURO NACIONAL | 国債証券 | 0.0 |
| 4 | CHINA GOVERNMENT BOND | 国債証券 | 0.0 |
| 5 | LETRA TESOURO NACIONAL | 国債証券 | 0.0 |

・「J – R E I T インデックス マザーファンド」を通じての投資銘柄

| 順位 | 銘柄 | 種類 | 投資比率 (%) |
|----|------------------------|------|----------|
| 1 | 日本ビルファンド投資法人 投資証券 | 投資証券 | 0.3 |
| 2 | ジャパンリアルエステイト投資法人 投資証券 | 投資証券 | 0.2 |
| 3 | 野村不動産マスターファンド投資法人 投資証券 | 投資証券 | 0.2 |
| 4 | 日本プロロジスリート投資法人 投資証券 | 投資証券 | 0.2 |
| 5 | 日本都市ファンド投資法人 投資証券 | 投資証券 | 0.2 |



運用実績 (2023年9月29日現在)

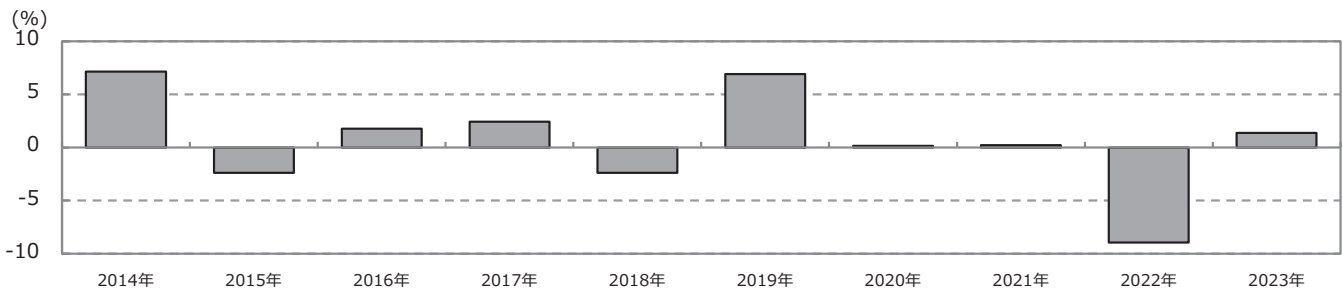
・「海外REITインデックス マザーファンド」を通じての投資銘柄

| 順位 | 銘柄 | 種類 | 投資比率 (%) |
|----|--------------------------|------|----------|
| 1 | PROLOGIS INC | 投資証券 | 0.2 |
| 2 | EQUINIX INC | 投資証券 | 0.1 |
| 3 | PUBLIC STORAGE | 投資証券 | 0.1 |
| 4 | WELLTOWER INC | 投資証券 | 0.1 |
| 5 | DIGITAL REALTY TRUST INC | 投資証券 | 0.1 |

・「野村マネー マザーファンド」を通じての投資銘柄

| 順位 | 銘柄 | 種類 | 投資比率 (%) |
|----|--------------------------------|-------|----------|
| 1 | 日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第120回 | 特殊債券 | 0.0 |
| 2 | 三井住友ファイナンス&リース 第21回社債間限定同順位特約付 | 社債券 | 0.0 |
| 3 | 西日本高速道路 第63回 | 特殊債券 | 0.0 |
| 4 | 大阪府 公募(5年)第155回 | 地方債証券 | 0.0 |
| 5 | 日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第209回 | 特殊債券 | 0.0 |

年間収益率の推移 (暦年ベース)



- ・ファンドの年間収益率は税引前分配金を再投資して算出。
- ・ファンドにベンチマークはありません。
- ・2023年は年初から運用実績作成基準日までの収益率。

●ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。●ファンドの運用状況は、別途、委託会社ホームページで開示している場合があります。



手続・手数料等

■ お申込みメモ

| | |
|-----------|--|
| 購 入 単 位 | 1円以上1円単位（当初元本1口＝1円） |
| 購 入 価 額 | 購入申込日の翌営業日の基準価額 （ファンドの基準価額は1万口あたりで表示しています。） |
| 購 入 代 金 | 原則、購入申込日の翌々営業日までに、お申込みの販売会社にお支払いください。 |
| 購入の申込者の制限 | 確定拠出年金法に定める加入者等の運用の指図に基づいてファンドの購入の申込みを行なう資産管理機関および国民年金基金連合会等に限るものとします。 |

| | |
|---------|---|
| 換 金 単 位 | 1口単位 |
| 換 金 価 額 | 換金申込日の翌営業日の基準価額 |
| 換 金 代 金 | 原則、換金申込日から起算して6営業日目から、お申込みの販売会社でお支払いします。 なお、有価証券の売却や売却代金の入金が遅延したとき等は、換金代金の支払いを延期する場合があります。 |

| | |
|-------------------|--|
| 申 込 締 切 時 間 | 午後3時までに、販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。 |
| 購 入 の 申 込 期 間 | 2023年5月17日から2024年5月16日まで * 申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。 |
| 換 金 制 限 | 大口換金には制限を設ける場合があります。 |
| 購入・換金申込受付の中止及び取消し | 金融商品取引所等における取引の停止等、その他やむを得ない事情があるときは、購入、換金の各お申込みの受付を中止すること、および既に受付けた購入、換金の各お申込みの受付を取消すことがあります。 |

| | |
|---------------|--|
| 信 託 期 間 | 無期限（2012年2月28日設定） |
| 繰 上 償 還 | 受益権口数が30億口を下回った場合等は、償還となる場合があります。 |
| 決 算 日 | 原則、毎年2月17日（休業日の場合は翌営業日） |
| 収 益 分 配 | 年1回の決算時に分配を行ないます。（原則再投資） |
| 信 託 金 の 限 度 額 | 5000億円 |
| 公 告 | 原則、 http://www.nomura-am.co.jp/ に電子公告を掲載します。 |
| 運 用 報 告 書 | ファンドの決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、知っている受益者に交付します。 |
| 課 税 関 係 | 課税上は、株式投資信託として取扱われます。 配当控除の適用はありません。 * 上記は2023年9月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、内容が変更される場合があります。 |

※購入、換金の各お申込みの方法ならびに単位、および分配金のお取扱い等について、販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。



手続・手数料等

■ ファンドの費用・税金

ファンドの費用

| 投資者が直接的に負担する費用 | | | | |
|--------------------------------------|--|-------|---|--------|
| | 購入時手数料 | ありません | | |
| | 信託財産留保額 | ありません | | |
| 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 | | | | |
| 運用管理費用 (信託報酬) | 信託報酬率 | | 年0.88% (税抜年0.80%) 以内 (2023年11月16日現在) 年0.88% (税抜年0.80%) | |
| | 支払先の および 役務の 内容 | 委託会社 | ファンドの運用とそれに伴う調査、 受託会社への指図、 法定書面等の作成、 基準価額の算出等 | 年0.40% |
| | | 販売会社 | 口座内でのファンドの管理 および事務手続き、 購入後の情報提供、 各種書類の送付等 | 年0.35% |
| | | 受託会社 | ファンドの財産の保管・管理、 委託会社からの指図の実行等 | 年0.05% |
| * 上記配分は、2023年11月16日現在の信託報酬率における配分です。 | | | | |
| その他の費用・ 手数料 | <p>その他の費用・手数料として、以下の費用等がファンドから支払われます。これらの費用等は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料 ・ 外貨建資産の保管等に要する費用 ・ 有価証券の貸付に係る事務の処理に要する費用 ・ 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・ ファンドに関する租税 <p style="text-align: right;">等</p> | | | |

税金

- 税金は表に記載の時期に適用されます。
- 以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

| 時期 | 項目 | 税金 |
|------------------|----------------------|--|
| 分配時 | 所得税、復興特別所得税 及び地方税 | 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315% |
| 換金（解約）時及び 償還時 | 所得税、復興特別所得税 及び地方税 | 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315% |

- * 上記は2023年9月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。
- * 外貨建資産への投資により外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- * 法人の場合は上記とは異なります。
- * 税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
- * 受益者が確定拠出年金法に規定する資産管理機関および国民年金基金連合会等の場合は、所得税、復興特別所得税および地方税がかかりません。



追加的記載事項

- 各マザーファンド（「野村マネー マザーファンド」を除く）が対象とするインデックスの著作権等について

○東証株価指数（TOPIX）、東証REIT指数（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）、東証REIT指数（配当込み）の指数値及び東証株価指数（TOPIX）、東証REIT指数（配当込み）に係る標章又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数（TOPIX）、東証REIT指数（配当込み）に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数（TOPIX）、東証REIT指数（配当込み）に係る標章又は商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、東証株価指数（TOPIX）、東証REIT指数（配当込み）の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P Xにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P Xは責任を負いません。

○NOMURA-BPI国債指数

NOMURA-BPI国債指数の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

○MSCI-KOKUSAI指数、MSCIエマージング・マーケット・インデックス

MSCI-KOKUSAI指数、MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

○JP モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス、 JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド

本インデックスは、ジェー・ピー・モルガン・セキュリティーズ・エルエルシー（以下、「インデックス・スポンサー」といいます。）に帰属します。インデックス・スポンサーは、本インデックスを参照する証券、金融関連商品又は取引（以下各々「商品」といいます。）を、賛助し、支持し、又はその他の方法で推奨するものではありません。本書に含まれる商品に関する情報は、その提供のみを目的としたものであり、商品の購入若しくは販売を目的とした募集・勧誘を行うものではありません。本インデックスの情報源及びこれに含まれるデータ若しくはその他の情報は信頼できると思われるものですが、インデックス・スポンサーはその完全性及び正確性を保証するものではありません。インデックス・スポンサーは、いかなる商品への投資の妥当性について、明示黙示を問わず、何らの表明又は保証をするものではありません。インデックス・スポンサーは、いかなる商品の管理、マーケティング又は取引に関して、何らの責任又は義務を負いません。本インデックスに関する追加の情報については、www.morganmarkets.com をご覧ください。当情報の著作権は、ジェー・ピー・モルガン・チェース・アンド・カンパニーに帰属します。

○S&P先進国REIT指数

S&P先進国REIT指数はスタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービスズ エル エル シーの所有する登録商標であり、野村アセットマネジメントに対して利用許諾が与えられています。スタンダード&プアーズは本商品を推奨・支持・販売・促進等するものではなく、また本商品に対する投資適格性等に関しいかなる意思表示等を行なうものではありません。